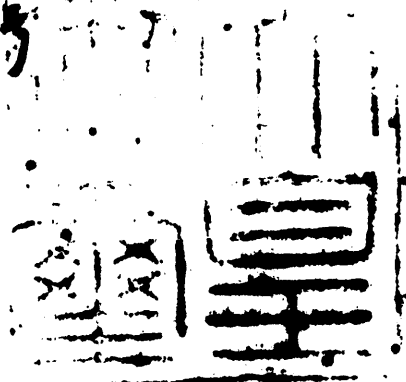
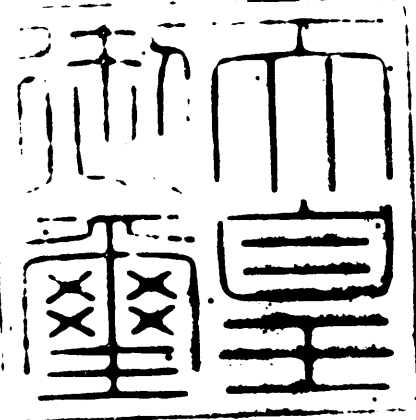


皇太子御璽



朕地方官官制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

睦仁



明治三十八年四月十八日

内閣總理大臣伯爵桂 太郎
内務大臣子爵芳川 麟正

勅令第四百十號

地方官官制

第一條 各府縣ニ左ノ職員ヲ置ク

知事
警務官
警視師
警視學
警視部

目録

技手
通譯

第二條

知事ハ勅任トス

第三條

事務官ハ四人奏任トス但シ内

務大臣ノ指定スル府縣ニ於テハ五人

ヲ置クコトヲ得

警視ハ奏任トス

第四條

屬視學警部及通譯ハ判任トス

屬及警部ハ各府縣ヲ通シテ四千八百

一人ヲ以テ定員トシ其ノ每府縣ノ定

員ハ内務大臣之ヲ定メ其ノ各官ノ定
員ハ内務大臣ノ認可ヲ經テ知事之ヲ
定ム

視學ハ各府縣ヲ通シテ九十二人ヲ以
テ定員トシ其ノ每府縣ノ定員ハ内務
大臣之ヲ定ム

第五條

警視技師技手及通譯ハ府縣ノ

須要ニ依リ俸給豫算定額内ニ於テ之

ヲ置クコトヲ得但シ警視ハ第四部ニ

屬スル者ハ大阪府ハ二人其ノ他ノ府

縣ハ一人、警察署長ニ充ツル者ハ各府
縣ヲ通シテ八十人ヲ超ユルコトヲ得
ス

第六條 知事ハ内務大臣ノ指揮監督ヲ
承ケ各省ノ主務ニ付テハ各省大臣ノ
指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ部
内ノ行政事務ヲ管理ス

第七條 知事ハ部内ノ行政事務ニ付其
ノ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ管内ニ
般又ハ其ノ一部ニ府縣令ヲ發スルコ

トヲ得

第八條 知事ハ非常急變ノ場合ニ臨ミ
兵力ヲ要シ又ハ警護ノ為兵備ヲ要ス
ルトキハ師團長又ハ旅團長ニ移牒シ
テ出兵ヲ請フコトヲ得

第九條 知事ハ所部ノ官吏ヲ指揮監督
シ奏任官ノ功過ハ内務大臣ニ具狀シ
判任官以下ノ進退ハ之ヲ行フ

第十條 知事ハ所部ノ奏任官ノ懲戒ヲ
内務大臣ニ具狀シ判任官以下ニ付テ

ハ之ヲ行フ

第十一條

知事ハ郡長島司ノ處分又ハ

命令ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權

限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其

ノ處分又ハ命令ヲ取消シ又ハ停止ス

ルコトヲ得

知事ハ行政事務ニ付其ノ部内ノ市長

ヲ指揮監督シ其ノ處分ニ付テハ前項

ノ例ニ依ル

第十二條

知事ハ廳中處務ノ細則ヲ設

クルコトヲ得

第十三條

知事事故アルトキハ第一部

長タル事務官其ノ職務ヲ代理ス

知事及第一部長タル事務官共ニ事故

アルトキハ内務大臣ニ於テ他ノ事務

官ノ一人ヲシテ知事ノ職務ヲ代理セ

シム

知事ハ府縣ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ

一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十四條

知事ハ其ノ職權ニ属スル事